

令和元年度第2回石狩市厚田区地域協議会 会議録

【日 時】 令和元年5月23日(木) 18:30～19:50

【場 所】 望来コミュニティセンターみなくる

【出席者】 7人(14人中)

役職	氏名	出欠	役職	氏名	出欠	役職	氏名	出欠
会長	築田 敏彦	○	委員	加藤 亜弓	○	委員	平賀 敏和	×
副会長	渡邊 教円	×	委員	河合 徳秋	×	委員	本吉 俊一	×
委員	東 幸子	×	委員	河合 保郎	○	委員	森田 瞳	○
委員	大内 さつき	○	委員	小山 玲子	○	委員	吉村 貴文	×
委員	小笠原 英史	×	委員	今 光江	○		欠員	

※正副会長を除き、あいうえお順

企画経済部～三上主任

支 所 ～ 西田支所長

地域おこし協力隊 江崎隊員・吉川委員

事務局 ～ 高田地域振興課長・佐藤主査・寺尾主査
(地域振興課)

【傍聴者】 0名

- 【次 第】
1. 開会
 2. 会長あいさつ
 3. 情報交流(リラックス タイム)
 4. 協議事項
 - ・地域協議会の今後の方向性について
 5. 報告事項
 - ①平成30年度厚田区内各団体活動報告について
 - ②地域おこし協力隊の着任について
 - ③GWの道の駅及び区内の飲食店・商店等の状況について
 - ④厚田区地域おこし協力隊の関連情報について
 6. その他
 7. 閉会

1. 開会

【 (厚) 地域振興課 高田課長 】

開会の前に、渡邊副会長、東委員、小笠原委員、河合(徳)委員、吉村委員、本吉委員から欠席の連絡があったので報告する。平賀委員は遅れて出席する。(最終的に欠席)

2. 会長挨拶

【 築田会長 】

農作業等で大変お忙しいところ、出席いただき感謝申し上げます。晴天が続いており、水田の準備が出来る前に苗がどんどん伸びて、更にメロン農家も苗がどんどん伸びて、水田とメロン両方やっている農家は準備で悲鳴を上げている状態と聞く。今日はぎりぎりの出席数で会議が成立となった。皆様のご協力よろしく願います。

3. 地域おこし協力隊の着任について

【 築田会長 】

・次第では後になっているが、新しい地域おこし協力隊の吉川隊員に出席いただいているので、先に自己紹介を含め、あいさつを頂きたい。

【 (厚) 地域おこし協力隊 吉川隊員 】

・5月から厚田区地域おこし協力隊に着任した吉川と申します。前職は旅行会社に勤務しており、その経験を活かして地域、住民、観光客の交流のきっかけ作りに取り組みたいと考えていますので、よろしくお願いします。

4. 情報交流 (リラックス タイム)

- ・GWの道の駅での出店イベントについて (小山委員、河合委員)
- ・戸田墓苑のさくら祭りについて (今委員)
- ・農業女子奮戦記について (東委員が掲載された雑誌記事から森田委員が情報提供)
- ・6月1日厚田小中学校の運動会について (加藤委員)

5. 協議事項

地域協議会の今後の方向性について

【 (厚) 地域振興課 高田課長 】

- ・今年9月末で第7期の地域協議会委員の任期が終了する。配付したスケジュールに基づき、今後第8期の委員の選出、選任に取り組んで参りたい。今日は皆様から意見をいただき、団体推薦枠(1号委員)について色々と参考意見にしたいと考えている。これまでの団体推薦枠の経過一覧表を添付しているので、合わせてご覧頂きたい。
- ・委員の役割を振り返るが、住民の多様な意見・アイデアが適切に反映され、地域の特色を活かした「まちづくり」「地域経営」が図れるよう協議検討を行う、という役割を担っており、具体的には地域意見の取りまとめ、特色ある地域づくりの実現、協働によるまちづくりの推進がある。
- ・1号委員については団体からの推薦であり、地域協議会で話し合われたことを団体で共有したり、団体から吸い上げた意見を地域協議会で話したりという役割も担うよう考えていたが、委員個々に仕事を持っていることや団体の会議が必ずしも毎月あるという訳では無いため難しい現状があると認識している。これまで1年半やってきた中で、その辺の視点も踏まえながら今日ご意見頂ければありがたい。

【 加藤委員 】

- ・第7期で初めて参加した。正直、あまり意見を持ってきちんと会議に参加できず、お客さんのようになっていたことの方が多かった。ただ会議で情報共有された内容を職場や父母、子どもたちに話して共有することで自分の見識も広がったと思うので参加して良かった。次回からはもっと発言していきたい。

【 河合(保)委員 】

- ・1期、2期の委員をやっていた。そのときは色々意見を出していたように思うが、第7期では自分自身余り意見を出していないと感じている。1期目はゆめ倶楽部、2期目はライフサポートの会。今回は自治連合会から選出された。

【 森田委員 】

- ・地域おこし協力隊のときは会議を外から見ていた。いざ委員になってみると、意見を言えたり、言えなかったり、また他の人の意見を聞いて、自分自身の視野が広がる部分もあった。色々な立場の人がいる中で話し合いができるのは自分にとって良い経験になっている。
- ・意見が出しやすかったのは座談会るとき。今の委員に同年代の人がいるのも話がしやすく良い。

【 築田会長 】

- ・第6期から第7期にかけて、平均年齢が一気に5歳から10歳ぐらい下がった。今、15人の定員から前厚田中学校の三浦校長が転勤したため、1名欠員で14名となっているが、こんな感じの人がいたら話し合いが盛り上がるのではないかと、話題が豊富になるのではないかと等意見はないか。

【 小山委員 】

- ・やはり若い人が将来に対して色々な意見を持っていると思うが、農家や漁師など忙しくて中々話し合う機会がない。若い人たちが声を発してくれれば良いと思う。平均年齢をもっと下げていただければと思う。
- ・自分は石狩北商工会から選出されているが、厚田の店は何処もしまっており、地域協議会の内容を役員には報告しているが一般に下ろせないのが実情。

【 築田会長 】

- ・先ほどの資料の中で団体推薦枠の一覧表があったが、団体推薦枠は10名、見識を有する者が2名、一般公募者が3名で、計15名となっている。この配分は変わらないとのことだが、今迄の団体推薦枠にとらわれず、こんな団体もあつたら良いのではないかと等、意見をいただければと思う。

【 大内委員 】

- ・社会福祉法人等かどうか。6期までは団体推薦枠に入っていた。

【 築田会長 】

- ・はるにれ、レラ望来、みよし園等の職員についてだと思うが、これらも意見として頂戴したい。

【 森田委員 】

- ・地域おこし協力隊を入れるのはどうか？いろんな意見が出そう。

【 (厚) 地域振興課 高田課長 】

- ・森田委員は、地域おこし協力隊のときに事務局側にいた経験からの意見だと思うが、会議の運営の仕方として例えば学校の話であれば会長の権限で各学校長に出席をお願いして話し合いに参加してもらうことは可能。
- ・地域おこし協力隊は常に支所側にいるので、委員15名プラス必要ときに話し合いに入ってもらえることができる。

【 築田会長 】

- ・地域おこし協力隊を独立した小島さんにその後の話を聞くなども良いかも。来てもらって話を聞きたいと前々から思っていた。委員の中からもこういう人の話が聴きたいというのがあれば、意見としていただくのも良いかもしれない。
- ・厚田学園が来年開校するが、それらも含めて新しい視点でこんな団体、こんな人が入ってくればという意見はないか。

【 小山委員 】

- ・学校の関係話し合う団体があつたと記憶しているが。

【 (厚) 地域振興課 高田課長 】

- ・地域教育分科会。正にコミュニティスクールについて話し合う団体。石狩市として新しく開校する厚田学園の運営方針が決まるまで活動を休止していた。
- ・コミュニティスクールとして設立する運営方針が確定したので、地域としてどのように学校運営に関わるか、

地域教育分科会としてこれから検討していく予定。

【小山委員】

- ・教育がテーマのときは教育に詳しい方に来ていただく等、内容によって臨時ゲストを呼ぶのも新鮮で良いと思う。メインの話題があるときは無理だが無い時は他の人の話を聞くのも新鮮。折に触れて盛り込むことで会議が活性化するのは？いろいろな意見が出て繋がっていくと思う。

【河合（保）委員】

- ・地域協議会としても何か形にしなければいけないのでは？今迄、話し合いの中から色々な組織が作られてきた経緯がある。

【（厚）地域振興課 高田課長】

- ・実際に地域協議会のメンバーが何かの形を作って纏めるということではなく、地域のやりたいという声を受けて、実際に地域の活性化や特色ある地域作りに繋がるかを地域協議会の中で話し合い応援していくということになる。

【築田会長】

- ・私が地域協議会に入ったときは、基金の利用について地域団体からの要望を受けて、採択について地域協議会の中で話し合うということも役割にあった。それがだんだんと団体も基金を使うまでの活動が出来なくなった。
- ・基金はあるが事業をやりたいという団体が無くなったので、基金をどうするかという本来の役割の一つが遠のいている。もっと沢山の団体に基金を使ってこんなことをやりたい、あんなことをやりたいという意見を出してもらえる、そういう仕組みが必要ではないかと思う。

【（厚）地域振興課 高田課長】

- ・基本的には地域を元気にしたい、活性化するためにどうしたいという意見が出てきたとき初めて、資金が無いのでしたら良いのか、じゃ基金は使えないかというのが原則。基金の1億が2倍、3倍になるような使い方をしていかなければいけないと考える。

【築田会長】

- ・さっき出たコミュニティスクールの件だが、私は厚田中学校の学校教育委員になっている。すでに望来は統合しているが、聚富と厚田でコミュニティスクールの話したいので、協力して欲しいという話があった。
- ・先程、地域教育分科会の関係でコミュニティスクールの話が出たが、今の厚田中学校の校長がコミュニティスクールについて詳しい。北広島市の西部でコミュニティスクールを立ち上げた経験がある。

【（厚）地域振興課 高田課長】

- ・実際にコミュニティスクールがどういったものか分かっている人も少ない。今回はそういう話も聞いていただくとイメージが沸くと思う。

【築田会長】

- ・後はどうだろうか？自分の身近な団体や、自治会でもこのような人が入るといいのではという意見など。
- ・先ほど説明あったスケジュールで、これから準備を進めていくが、概ねこのとおりでよろしいか。
(出席委員の全員が了解)

6. 報告事項

(1) 平成30年度厚田区内各団体活動報告について

【（厚）地域振興課 佐藤主査】

別添資料：平成30年度厚田区内各団体報告参照

厚田区内8つの団体の活動報告

- ① 厚田区コミュニティ「ゆめ倶楽部」～スポーツと食を通じた地域振興に取り組む。主催5事業の他、区内で開催されるスポーツイベントや食イベントに協力。
- ② あつたの森支援の会「やまどり」～厚田区内の森林施業を行いながら山の素晴らしさを多くの人たちと共有す

- る取り組み。下草刈り、除間伐、地ごしらい、植栽等を実施。
- ③ NPO法人あつたライフサポートの会～区内において地域で互いに支えあうシステム構築について事業を展開している。移送事業、除雪事業を実施。
 - ④ 厚田資料室サポートの会～厚田資料室のリニューアルの経験から、今後道の駅で特別展示の開催について検討していく。
 - ⑤ 地域教育分科会～厚田学園の運営方針が確定したことを受け、コミュニティスクールへの関わりを検討
 - ⑥ 厚田アクアレール実行委員会 ～今年度は5回展に向けたPRの年。次回は令和2年度開催。
 - ⑦ 厚田こだわり隊 ～道の駅でのイベント出店の他、イベント出店等で積極的に活動し厚田地域の良さや地元食材を使用した商品を販売。新商品を現在開発中。
 - ⑧ 地域賑わい呼びおこし隊 ～朝市食堂の試験営業を中心に活動。一定の成果を受けて活動終了。

(2) 地域おこし協力隊の着任について

※会議の冒頭で実施済み

(3) 道の駅の関連情報について

【 (厚) 地域振興課 佐藤主査 】

- ・道の駅オープンから1周年。ゴールデンウィークの来場者数は昨年と同日10日間の比較では103%となっている。
- ・交通渋滞に関しては、道路の拡幅工事が効果を発揮し、最大でも約2キロ、それも限定された一部の時間帯であった。拡幅工事は秋に再開される予定で港の入口付近まで行われ、次年度は更に渋滞緩和が図られると考えている。
- ・厚田支所の駐車場及び職員駐車場を道の駅臨時駐車場として開放した。晴天の日は利用が多く一時的に満車になるなど渋滞緩和に一定の効果が見られた。
- ・ゴールデンウィーク期間中は浜益区や厚田区の団体が出店し1周年を盛り上げ。本日の出席委員の中にも団体メンバーがいるが、期間中の協力に感謝する。

【 (厚) 地域振興課 高田課長 】

- ・ゴールデンウィーク期間中の状況について厚田区内の飲食店等に聞き取りをしたので報告する。
- ・朝市については、昨年程の賑わいには至らなかったが、道の駅開業以前に比べお客は増えており、道の駅の効果が感じられる。売れた、売れないという店舗様々あり、意見を集約すると干物など加工品中心の店舗は概ね売れた、生魚中心の店舗はそうでもなかったという意見が多かった。
- ・区内飲食店については、概ねどの飲食店も道の駅集客効果が見られた。朝7時から朝食営業をやった店がかなりお客も来て手ごたえを感じたという意見。その他も連休中はかなり忙しかったとのこと。
- ・十字街の中に店を構える商店については常連客しか来ないという話で、集客効果が感じられないとのこと。人気の寿司屋が廃業したことや、国道沿いに移転した鮮魚の店舗もあり集客が難しい状況になっている。
- ・十字街については今後更に人を導く魅力作りが必要。

(4) 厚田区地域おこし協力隊の道の駅の関連情報について

【 (厚) 地域おこし協力隊 江崎隊員 】

- ・ゴールデンウィーク期間中に開催した夕日探訪ツアーについて報告する。期間中の内7日間実施の予定であったが、雨、風が強かった2日間を中止とし5日間の実績となった。この間の参加者は44人。札幌市、石狩市からの参加者が多かったが、旭川市など遠方からの参加者もいた。情報については、道の駅のフェイスブックで知ったという人が多く、また、夕日目当てに道の駅に来たという人もいた。今後も道の駅と連携して連休など同様のツアーを組んでいければ面白いと思う。
- ・あいりーどパーク自然観察会を4月から毎月1回開催している。6月は3回目となる。この季節は虫や動物が道を歩いていた、木の実なども多くなる時期で、委員の皆さんも興味があれば是非参加いただきたい。

7. その他

【 (厚) 地域振興課 高田課長 】

- ・区内で予定されているイベントについて情報提供する。
- ・6月23日(日)厚田区コミュニティ「ゆめ倶楽部」主催のスポーツと食の体験が望みなく開催される。

今迄、そば打ち体験を行っていたが、今年は趣向を変えて昼にバーベキューをする。年々参加者が減っているが、来年以降、参加者増のきっかけにしたいと考えている。当日は10時開会し子どもから高齢者まで参加できる軽スポーツ競技を行う他、食のテーマでは厚田米の生産農家のお話、更においしいおにぎりの握り方体験を行う。おにぎりの講師は道の駅テナントで厚田米のおにぎりをメニューとして取り扱っている「一純」から来ていただく予定。

- ・6月22日(土)、23日(日)道の駅で「沖縄県恩納村フェア」が開催される。沖縄の特産品販売の他、三線ライブ、沖縄舞踊ステージが1日2回予定されている。ぜひ道の駅にも足を運んでいただきたい。

○次回の日程について

令和元年6月25日(火) 18時30分～ 厚田保健センター

令和元年6月25日 議事録確定

石狩市厚田区地域協議会

会長

栗田敏彦